

2026年4月20日

No. 657

4月、7月、9月、11月、1月、3月
20日発行

発行人

〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地

公益社団法人 福島県畜産振興協会

電話 (024) 573-0515

FAX (024) 573-0565

URL <http://fukushimalin.gr.jp/index.htm>

anteil@bz03.plala.or.jp

kanri-eiseika@bz03.plala.or.jp

keikai@bz03.plala.or.jp

編集者 森 口 克彦

印刷所 (株) 第一印刷

令和8年度 福島県の畜産振興について

福島県農林水産部畜産課

令和8年度における本県農林水産業の施策の基本方向は、農林水産業振興計画に掲げる「東日本大震災・原子力災害からの復興の加速化」、「多様な担い手の確保・育成」、「生産基盤の確保・整備と試験研究の推進」、「需要を創出する流通・販売戦略の実践」、「戦略的な生産活動の展開」、「活力と魅力ある農山漁村の創生」、さらに「社会情勢に応じた対応」を加えた7つの方針に沿った施策に戦略的に取り組み、複合災害からの早期の復興と農林水産業・農山漁村の更なる発展を目指すこととしております。

畜産分野におきましては、飼料価格の高止まりや牛肉消費の冷え込みに加え、夏場の気温上昇などの気候変動といった厳しい状況が続いております。このため、畜産経営の安定・強化を図りながら、東日本大震災及び原子力災害により大きな被害

を受けた生産基盤の回復や、風評により価格が低下している牛肉をはじめとした県産畜産物の信頼回復とおいしさ・品質の積極的な発信によるブランド再生などに向けて、生産振興対策や流通対策を一体的に展開し、本県畜産の持続的な発展に繋げてまいります。

今年度の施策の推進に当たっては、飼料価格上昇分の一部支援を継続するとともに、暑熱による家畜へ影響を軽減するために必要となる飼養管理対策や関連機械の導入支援を進め、先端技術を活用した肉用牛生産、福島牛「福柏花」をはじめとした県産畜産物の認知度向上や販路拡大、全国和牛能力共進会への出品支援など、これらの施策を総合的に推進し、本県の畜産の復興・再生に取り組んでまいります。

令和8年度福島の畜産復興等の施策体系

- 東日本大震災及び原発事故の影響により、本県畜産は大きな被害を受けており、早急に生産基盤等とブランド力を回復させることが必要。
- 農家戸数、飼養頭数の減少に伴い、畜産物の生産量が減少しており、飼養頭数、生産量を回復させることが必要。
- 経営休止農家の経営再開や、規模拡大など経営支援対策が必要。
- 放射性物質による自給飼料の利用制限及び輸入粗飼料・配合飼料が高止まりしており、自給飼料の生産拡大、緊急的な購入支援策の継続に加えて、経営体質の強化が必要。
- 牛肉等の価格が風評被害により低下しているため、放射性物質検査の実施などによる信頼回復と、本県畜産物のおいしさや品質のPRによるブランド再生が必要。
- 復興途上のなか、TTP等国際競争にさらされることになることから、生産コストの削減や品質向上を図ることが必要。

経営安定対策		生産振興対策	
<経営再開支援対策> ◇福島県営農再開・高付加価値産地展開支援事業 ●うち福島県営農再開支援事業(畜産関係抜粋)[101,720千円](150,107千円) ・旧警戒区域域内における継続飼養農家への適正飼養管理の指導、埋却家畜の処理等・放射性物質の吸収抑制対策の実施・営農再開に向けた家畜の飼養実証 ・放れ畜対策(うち8,184千円) ・作付・家畜飼養実証(うち5,940千円) ・放射性物質の吸収抑制(うち87,596千円) ●うち福島県原子力被災12市町村農業者支援事業[502,075千円](502,115千円) ・原子力被災12市町村において農再開等を行う農業者に対して、必要な機械・家畜の導入や施設の整備に係る費用を補助 ●うち福島県高付加価値産地展開支援事業295,000千円 ・営農再開加速化に向け、付加価値の高い生産・加工等を行う産地創出を支援		<肉用牛復興等対策> ◇「福島牛」次世代型技術実証事業(ゲノミック評価とAI肉質評価による肥育技術実証)[178,443千円](225,289千円) ・優良肥育素牛の導入を支援し、ゲノミック評価とAI肉質評価を組合せることで、適期出荷を回しもうかる農業を実現 ・ゲノミック評価による種雄牛造成、高能力繁殖雌牛導入・保留を支援 ◇ふくしまプライド。優良和牛育成支援事業[6,880千円](5,160千円) ・全国和牛能力共進会で優秀な成績を収め、福島県産牛の市場価値向上と風評払拭を図るため、出品候補牛の育成強化の取組を支援 ◇新 福島県畜産経営暑熱対策事業[50,420千円](一千万円) ・近年の気候変動等に伴う夏期の気温上昇により家畜の生産性が低下していることから、暑熱による家畜の損耗を軽減し、畜産経営の安定化を図るため、畜舎の温度管理に関する対策や機械導入等を支援	
<酪農復興等対策> ◇中核酪農生産基盤強化事業[53,986千円](65,528千円) ・中核酪農経営体の乳用初妊牛導入や高能力乳用雌牛への転換(高能力長命産産性精選、遺伝子評価)を支援 ◇乳用牛改良推進事業[30,577千円](33,165千円) ・担い手の技術・経営能力向上のための研修会等の開催支援(うち577千円) ・牛群改良を図るために、高能力雌牛の計画的に導入する生産者団体に低利な資金貸付を実施(うち30,000千円)		<飼料の確保・価格高騰対策> ◇飼料づくり生産性向上支援事業[40,212千円](一千万円) ・耐暑性の強い新品種・品目等の導入及び飼料の耐暑性を高めることを目的とした肥培管理の実証を支援(うち22,000千円) ・生産委託等により耕種農家と連携して飼料生産及び耕種連携に取り組む先進的なモデル農家を支援(うち17,500千円) ・耐暑性の強い新品種・品目等の導入や耕種連携の取組のための先進地視察や研修会、展示施設を実施(うち712千円) ◇飼料価格高騰対策事業[880,912千円](931,231千円) ・配合飼料価格、輸入粗飼料価格が高止まりしていることで、生産者の実質負担額が増額していることから、四半期ごとに単価を設定し増額分の一部を支援(うち784,652千円) ・飼料価格高止まりの影響を受ける畜産農家の経営強化のため、牛群検定の普及・活用による所得向上を支援(うち96,260千円)	
<流通対策> ◇ふくしまの畜産ブランド再生事業[82,875千円](46,403千円) ・畜産物各種商談会の参加、福島牛「福柏花」の認知度向上等		<消費回復・ブランド復興等対策> ◇福島県ブランド農林水産物販売力強化事業(農産物流通課)の一部 ◇畜産加工施設整備事業[2,908,614千円](44,444千円) ・生乳需給調整計画の策定及び乳製品加工工場を整備する取組を支援	
<注釈> ◇：その他復興対策等関連事業 ●：TTP等関連政策大綱に基づく事業 ●：令和8年度新規事業 []：令和8年度予算額 ()：令和7年度予算額 下線：令和8年度の変更点		<安定的な生乳の受入体制の構築> ※酪王共同乳業工場跡地への向上の新設 <安全性確保> ◇肉用牛全頭安全対策推進事業[37,528千円](37,531千円) ・牛肉放射性物質検査に要する経費	



就任のごあいさつ

福島県農林水産部畜産課長 吉田 安宏

このたび、4月1日の定期人事異動により畜産課長を拝命いたしました吉田安宏でございます。前任者同様、皆様方の御協力と御支援をお願い申し上げます。

はじめに、畜産関係者の皆様には、日頃より本県畜産の振興に御尽力いただいておりますことに深く敬意を表しますとともに、心より感謝申し上げます。御支援を頂いている多くの皆様の御協力により、避難指示解除地域における営農再開の進展や、県内主要乳業メーカーの工場や復興牧場をはじめとした畜産施設の稼働、さらには、本県地鶏である会津地鶏の地理的表示保護制度（GI）への登録など、本県畜産の復興に向けた歩みは、大きく前進しているところであります。

一方で、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故に起因する根強い風評により、本県産肉用牛の枝肉価格は全国平均を下回る状況が続いております。加えて、不安定な社会情勢による飼料価格の高止まりや、消費者の生活防衛意識の高まりによる牛肉の消費低迷、生産者の高齢化・担い手不足に伴う飼養戸数の減少、さらには夏季の高温化などの気候変動の影響により、畜産経営を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

このため、県といたしましては、農林水産業振興計画の基本目標である「『もうかる』『誇れる』共に創るふくしまの農林水産業と農山漁村」の実現に向け、飼料価格高騰対策を継続し畜産農家の経営を下支えしながら生産基盤の維持・強化を進めてまいります。あわせて、暑熱対策の取組や耐暑性に優れた飼料作物の新品種の導入、耕畜連携による飼料生産の推進を支援し、本県畜産業の生産力と競争力の強化に取り組んでまいります。

また、ゲノミック評価を活用した高能力種雄牛の造成や、AIを活用した肉質診断技術による「福島牛」の品質向上を進めるとともに、酒どころでもある本県の酒粕を給与して育てた「福粕花」をはじめとした県産畜産物について、その魅力を県内外へ広く発信し、ブランド力の向上と販路拡大に取り組んでまいります。

さらに、家畜衛生対策につきましては、高病原性鳥インフルエンザが全国の家きん飼養農場で相次いで発生し、県内においても野鳥での感染が確認されるなど、引き続き予断を許さない状況にあります。特定家畜伝染病は、ひとたび発生すれば地域の畜産基盤に甚大な影響を及ぼすことから、発生予防対策と万が一の発生時における迅速な初動防疫体制の確立が極めて重要であります。県といたしましては、農場への野生動物の侵入防止対策をはじめとする飼養衛生管理基準の遵守徹底や、豚熱ワクチンの適切な接種などの予防対策を継続するとともに、関係機関と連携した防疫体制の強化を図り、まん延防止対策の徹底に万全を期してまいります。

今後とも、市町村、関係団体の皆様と一体となって畜産振興の取組みを推進してまいりますので、皆様におかれましては、より一層の御尽力、御協力を賜りますようお願い申し上げます、就任の挨拶といたします。



主要事業の概要

(抜粋：畜産課関係)

1 次世代型ふくしまの畜産推進事業 【畜産課】

(1) 目 的

飼料価格の高止まりや畜産物取引価格の下落による県内畜産農家の経営不振を解決するため、ゲノミック評価やA I肉質評価システムなどの新技術の活用や家畜導入の支援によりブランド力と生産基盤の強化を図る。

(2) 事業内容

ア ゲノミック評価とA I肉質評価による肥育技術実証

県内子牛市場からの優良肥育素牛導入を支援するとともに、ゲノミック評価とA I肉質評価システムを組み合わせることにより、評価結果に応じた適切な時期での出荷を促進し、もうかる農林水産業の実現を目指す。

(ア) 事業主体 全国農業協同組合連合会福島県本部、一般社団法人福島県配合飼料価格安定基金協会

(イ) 事業費 142,720千円（国142,000千円、県一千円、その他720千円）

(ウ) 補助率 定額

イ 新たなゲノミック評価値を用いた「福島牛」改良

ゲノミック評価の活用による優秀な種雄牛造成と県内繁殖雌牛群の改良を継続するとともに、消費者ニーズを踏まえた霜降りの質の改良を促進し、他県銘柄牛との差別化を図る。

(ア) 事業主体 県

(イ) 事業費 35,723千円（国一千円、県11,370千円、その他24,353千円）

(3) 事業期間 令和6年度～令和8年度

2 ふくしまプライド。優良和牛育成支援事業

【畜産課】

(1) 目 的

震災後、風評等の影響で、市場価格の低迷や生産基盤の減少などの課題をかかえる中、各道府県が和牛の能力・品質等を競う「全国和牛能力共進会（以下「全共」という。）」において優秀な成績を収め、本県の育種改良の成果や肥育技術の高さを全国へPRすることで、福島県産牛の市場評価の向上、震災によって縮小した生産基盤の回復と風評払拭を図る。

(2) 事業内容

全共への出品に当たっては、出品候補牛の生産から育成・調教等の飼養管理、会場での出品展示まで、複数年にわたり様々な取組を進めていく必要がある。令和8年度については、「隆福久（たかふくひさ）」を中心とした県有種雄牛の産子に対して、調教訓練等の実施・短期肥育に取り組む農家を支援する。

(3) 事業主体 公益社団法人全国和牛登録協会福島県支部

(4) 事業費 6,880千円（国一千円、県6,880千円、その他一千円）

(5) 補助率 定額

(6) 事業期間 令和7年度～令和9年度

3 福島県畜産経営暑熱対策事業 【畜産課】

(1) 目 的

飼料価格を始めとした生産資材の物価高騰が続いている中、暑熱期の気温上昇等に起因した畜産物の生産性低下により更なる畜産経営の圧迫を招いていることから、これらの状況の中でも安定した畜産経営ができるよう暑熱対策に係る経費を支援する。

(2) 事業内容

ア 酪農暑熱対策事業

県内酪農経営に対して畜舎の温度管理に関する対策を支援する。

(ア) 事業主体 県内畜産団体等

(イ) 事業費 18,036千円（国一千円、県18,036千円、その他一千円）

(ウ) 補助率 1／2以内・定額

イ 肉用牛等暑熱対策事業

県内肉用牛、養豚、養鶏経営に対して畜舎の温度管理に関する対策や機器導入等を支援する。

(ア) 事業主体 県内畜産団体等

(イ) 事業費 32,384千円（国一千円、県32,384千円、その他一千円）

(ウ) 補助率 1／2以内・定額

(3) 事業期間 令和8年度～令和10年度

荷する際に放射性物質検査・推定し、安全性の確保を図る。

(2) 事業内容

ア 牛肉の放射性物質の検査

県外においてと畜処理される肉用牛について、放射性物質検査に必要な材料を採取して検査機関へ搬入し、検査を行う体制を確立する。

イ 牛生体の放射性物質検査

放射性物質の検出リスクの高い繁殖雌牛等については、出荷前の生体で放射性物質検査を実施し、基準値を超過する牛肉が出荷されない体制を整備する。

(3) 事業主体 県

(4) 事業費 37,528千円（国一千円、県7,528千円、その他一千円）

(5) 事業期間 平成26年度～令和8年度

4 ふくしまの畜産復興対策事業 【畜産課】

(1) 目 的

東日本大震災及び原発事故の影響により大きな被害を受けた本県畜産業の復興を図るため、生産・経営安定対策を支援する。

(2) 事業内容

中核酪農家生産基盤強化事業

生乳生産基盤を強化するため、中核酪農経営体が乳用初妊牛導入により生乳生産量を増加させる取組を支援するとともに、遺伝子評価等を活用した高能力牛への転換推進を支援する。

(3) 事業主体 福島県酪農業協同組合、全国農業協同組合連合会福島県本部等

(4) 事業費 53,986千円（国53,986千円、県一千円、その他一千円）

(5) 補助率 定額、1／2以内

(6) 事業期間 令和3年度～令和8年度

5 肉用牛全頭安全対策推進事業 【畜産課】

(1) 目 的

牛肉に対する消費者等の信頼を回復するとともに、県産ブランドの再生及び肉用牛農家の経営の安定を図るため、肉用牛を県外へ出

6 飼料づくり生産性向上支援事業 【畜産課】

(1) 目 的

近年の飼料価格の高止まりにより、家畜の生産費が上昇していることに加え、高温少雨の影響による既存草地・飼料畑の生産性の低下、高齢化や経営規模の拡大による労働力不足が課題となる中で、耐暑性の強い新品種・品目等の導入や耕畜連携による飼料生産の分業化を推進することで安定的な畜産経営基盤の確立を図る。

(2) 事業内容

ア 飼料生産性向上支援事業

飼料生産組織や畜産農家が畑地等で飼料の生産性を向上させるために実施する耐暑性の強い新品種・品目等の導入の取組に対して、取組面積に応じて取組に要する経費を補助するとともに草地等において、飼料の耐暑性を高めることを目的とした肥培管理の新技术実証を行う。

(ア) 事業主体 飼料生産組織・畜産農家等

(イ) 事業費 22,000千円（国11,000千円、県11,000千円、その他一千円）

(ウ) 補助率 10,000円以内／10a

イ 耕畜連携飼料生産支援事業

(ア) 生産委託等により耕種農家と連携して飼料生産を行う畜産農家等に対して、取組面積に応じて取組に要する経費を支援する。

(イ) 耕畜連携に取り組み、地域の先進的なモデル事例創出を行う畜産農家、耕種農家等に対して、必要な飼料の生産機械等の導入を支援する。

a 事業主体 畜産農家等

b 事業費 17,500千円(国8,750千円、県8,750千円、その他一千円)

c 補助率 (ア) 15,000円以内／10 a
(イ) 1／2 以内

ウ 飼料生産性向上・耕畜連携推進事業

耐暑性の強い新品種・品目等の導入や耕畜連携の取組をより効果的なものとするために、先進地の視察や研修会の開催、新品種展示ほの設置を実施する。

a 事業主体 県

b 事業費 712千円(国一千円、県712千円、その他一千円)

(3) 事業期間 令和8年度～令和10年度

7 飼料価格高騰対策事業 【畜産課】

(1) 目 的

配合飼料価格、輸入粗飼料価格の高止まりにより、生産者の負担が増加していることから、飼料価格上昇分の一部補助に加え、牛群検定の普及・活用による所得向上支援に係る費用の補助を行うことで、影響を受け続けている畜産農家の経営安定を図る。

(2) 事業内容

ア 畜産配合飼料価格高騰対策事業

配合飼料価格安定制度の加入者に対し、配合飼料価格上昇分の一部を支援する。

(ア) 事業主体 一般社団法人福島県配合飼料価格安定基金協会等

(イ) 事業費 740,273千円(国一千円、県

740,273千円、その他一千円)

(ウ) 補助率 定額(補助単価上限2,000円～下限400円／t)

イ 酪農飼料価格高騰対策事業

酪農家に対し、輸入粗飼料価格の上昇分の一部を支援するほか、牛群検定の普及・活用による所得向上支援を実施する。

(ア) 事業主体 福島県酪農業協同組合等

(イ) 事業費 140,639千円(国一千円、県140,639千円、その他一千円)

(ウ) 補助率 輸入粗飼料価格上昇分の一部補助：定額(2,000円／t以内)、牛群検定に必要な機器導入経費、検定情報に基づく飼養管理改善経費：3／4 以内、事業実施主体が開催する研修会開催経費：定額

(3) 事業期間 令和4年度～令和8年度

8 地域畜産総合支援体制整備事業 【畜産課】

(1) 目 的

畜産を取り巻く厳しい情勢に対処するため、経営感覚に優れ生産性の高い経営体への育成、家畜の飼養管理及び改良、生産性の向上等、畜産経営を安定化させるための経営技術の指導、情報発信体制を整備、経営改善に取り組む意欲・努力を助長し、畜産経営体の経営・生産技術の高度化・安定化を促進する。

(2) 事業内容

ア 畜産経営技術高度化指導事業

畜産関係団体連絡協議会の開催、「畜産福島」の発刊・配布等の活動を通じて、本県の畜産経営技術指導の高度化を促進する。

(ア) 事業主体 公益社団法人福島県畜産振興協会

(イ) 事業費 1,000千円(国一千円、県1,000千円、その他一千円)

(ウ) 補助率 定額

イ 畜産団体活動強化事業

蜂蜜の生産技術及び品質の向上に関する

研修会の開催経費の一部を補助する。

(ア) 事業主体 福島県養蜂協会

(イ) 事業費 126千円（国一千円、県126千円、その他一千円）

(ウ) 補助率 定額

(3) 事業期間 平成26年度～令和8年度

9 乳用牛改良推進事業

【畜産課】

(1) 目 的

持続的に発展可能な生乳生産基盤強化に向け、若手酪農家らが実施する飼養管理技術や経営能力の向上のための研修会開催の支援や資質の優良な高能力乳用雌牛を計画的に導入する生産者団体に対し低利資金の貸付を行う。

(2) 事業内容

ア 生乳生産効率化支援事業

酪農家の飼養管理技術の向上や経営能力向上を支援するため、若手酪農家らが実施する研修会の支援に加え、最新の知見を得た支援技術者を養成する。

(ア) 事業主体 福島県酪農青年研究連盟、県

(イ) 事業費 577千円（国一千円、県577千円、その他一千円）

(ウ) 補助率 定額

イ 高能力乳用雌牛整備事業

低利の初妊牛導入資金の貸付を行い、酪農家の乳用牛群改良を促進する。

(ア) 事業主体 福島県酪農業協同組合

(イ) 事業費 30,000千円（国一千円、県一千円、その他30,000千円）

(ウ) 貸付利率 1年据置4年元金均等償還年利0.5%

(3) 事業期間 平成25年度～令和8年度

10 中小家畜生産流通活性化事業

【畜産課】

(1) 目 的

県を代表するブランドである「地鶏」、「うつくしまエゴマ豚」の生産及び流通を活性化させる。

(2) 事業内容

ア ふくしま地鶏肉質評価事業

新系統から作出された大型シャモの旨味成分・食味を調査し、特徴が継承されている比較試験を実施する。

(ア) 事業主体 県

(イ) 事業費 150千円（国一千円、県一千円、その他150千円）

イ 優良系統豚維持増殖事業

県内養豚農家の経営安定のため、本県で造成したランドレース種「フクシマL2」及びデュロック種「フクシマD桃太郎」を維持・改良し、生産農家へ安定供給する。

(ア) 事業主体 県

(イ) 事業費 8,351千円（国一千円、県2,230千円、その他6,121千円）

(3) 事業期間 令和4年度～令和8年度

11 飼料増産総合推進対策事業

【畜産課】

(1) 目 的

「酪農・肉用牛生産近代化計画」の達成に向け、飼料生産対策会議による総合調整機能の強化に加え、生産組織の育成、自給飼料の需給マッチング及び奨励品種の導入推進等により自給飼料の増産を推進するとともに、飼料の安全確保のための指導等を実施する。

(2) 事業内容

ア 自給飼料増産総合推進事業

(ア) 自給飼料確保・適正使用指導

飼料生産対策会議を核にして、飼料増産・適正使用等を推進する。

(イ) 飼料作物奨励品種選定・普及推進

本県の気候等に合う生産性の高い品種を奨励品種として選定、普及することから、品種選定のための試験及び選定会議等を行う。

(ウ) 自給飼料生産組織育成支援

自給飼料の生産拡大のため、研修会開催、実態調査等を行う。

イ 流通飼料対策推進事業

(ア) 飼料安全性確保強化指導事業

安全で高品質な畜産物の生産を推進するため、飼料の安全性等に関する連絡調整、飼料及び飼料添加物の適正使用を図る。

イ 1,098千円（国548千円、県209千円、その他341千円）

(3) 事業期間 平成25年度～令和8年度

(3) 事業主体 県

(4) 事業費 ア 181千円（国一千円、県181千円、その他一千円）

イ 121千円（国一千円、県121千円、その他一千円）

(5) 事業期間 平成23年度～令和8年度

12 家畜衛生対策事業 【畜産課】

(1) 目 的

畜産農家の生産性向上及び安全な畜産物生産を図るため、家畜の飼養環境、疾病の浸潤状況、動物用医薬品使用状況等を調査・分析するとともに、それを基に畜産農家に対する指導を行う。

(2) 事業内容

ア 家畜衛生技術指導事業

(ア) 会議の開催、家畜疾病に関する情報提供

(イ) 巡回指導（疾病発生防止対策、動物用医薬品適正使用等）

(ウ) 慢性疾病等低減対策

各種衛生検査、疫学調査等を行い、有効な対策を講ずる。

イ 監視・危機管理体制整備促進対策事業

(ア) 家畜衛生関連情報整備対策

家畜衛生に関する情報を収集・分析し、家畜の衛生対策を講ずる。

(イ) 動物用医薬品危機管理対策

家畜由来薬剤耐性菌の発現状況を全国レベルで調査する。

動物用医薬品販売業等を巡回し、流通段階における動物用医薬品の品質検査を行う。

a 事業主体 県

b 事業費 ア 1,692千円（国841千円、県511千円、その他340千円）

13 獣医師確保対策事業 【畜産課】

(1) 目 的

高病原性鳥インフルエンザや豚熱等の家畜伝染病は国内で断続的に発生しており、これらの伝染病予防や衛生指導、伝染病発生時の指揮を取るのが公務員獣医師の重要な職務であるが、全国的に人材が不足している状況にある。本県においても、獣医師職員の確保は喫緊の課題となっており、本県の畜産振興のためにもこれまで以上に獣医師確保対策を強化する。

(2) 事業内容

ア 大学訪問・獣医系大学におけるPR

獣医系大学の就職説明会等への参加、パンフレットの作成及び獣医系雑誌への広告掲載などの取組により、獣医学生及び既卒者へのPR強化を行い、獣医師の確保を図る。

イ 獣医学生研修

獣医学生を対象として「福島体験研修」及び「福島県家畜保健衛生所研修」を行う。東日本大震災からの復興に向かっている畜産業や県民の姿を直接肌で感じてもらうことにより、獣医師の確保を図る。

ウ 社会人獣医師家畜保健衛生所見学

転職を検討している社会人獣医師を対象として家畜保健衛生所見学等を実施し、本県就職後の姿をイメージしてもらうことで、獣医師の確保につなげる。

エ 若手獣医師職員育成制度

家畜衛生分野におけるスキルアップを目的として、家畜保健衛生所の若手獣医師職員を対象とした研修会の開催に加え、外部の学会等への参加を促進して、知識・技術の修得及び意欲向上を図る。さらに、本取組を魅力の一つとして獣医学生等に情報発

信し、獣医師確保につなげる。

オ 獣医学生修学資金貸与事業

獣医学大学に在籍する学生で、将来、県の農林水産分野の業務を担う獣医師職員になることを希望する者に対し、修学に必要な資金を貸与することにより、獣医師職員を確保する。

(3) 事業主体 県

(4) 事業費 ア～エ 3,569千円（国一千円、県3,569千円、その他一千円）

オ 14,488千円（国一千円、県14,488千円、その他一千円）

(5) 事業期間 令和7年度～令和8年度

14 家畜防疫事業

【畜産課】

(1) 目的

福島県内で飼養されている乳用牛、肉用牛、豚、鶏等を対象に、家畜伝染病予防法に基づく家畜伝染病の検査を実施し、各種伝染病の発生予防及びまん延防止を図り、生産性の向上に資する。

(2) 事業内容

ア 家畜伝染病予防法に基づく検査及び各種疾病調査

家畜伝染病予防法第5条及び第51条に基づく検査及び立入検査を実施する。

イ BSE検査体制推進事業

BSE対策特別措置法第6条に基づき、生前に歩行困難・起立不能等の症状を呈していた牛のBSE検査を実施する。

ウ 家畜衛生講習会研修経費

家畜衛生の専門機関である国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門において、家畜の病性鑑定に係る高度な技術を習得するため、長期研修（5月～10月）や特殊講習会を受講し、県内における家畜疾病の診断技術の向上に資する。

エ 家畜保健衛生所精度管理体制整備推進事業

業

家畜保健衛生所法に基づく検査体制の整備のため、家畜保健衛生所の検査機器の点検及び外部機関による検査精度確認検査を受検する。

オ 特定家畜伝染病防疫体制整備事業

特定家畜伝染病の発生及びまん延防止を目的とした発生予察のための検査及び初動防疫に必要な資材の計画的な備蓄等を実施する。

カ 豚熱感染防止対策事業

豚熱の感染防止を目的としたワクチン接種、ワクチン接種後の免疫付与状況確認検査を実施する。

(ア) 事業主体 県

(イ) 事業費 106,306千円（国55,696千円、県27,273千円、その他23,337千円）

キ 自衛防疫強化総合対策事業

アカバネ病ワクチンに係る獣医師技術料を支援する。

(ア) 事業主体 公益社団法人福島県畜産振興協会

(イ) 事業費 1,305千円（国一千円、県1,305千円、その他一千円）

(ウ) 補助率 定額

(4) 事業期間 平成30年度～令和8年度

15 福島県営農再開・高付加価値産地展開支援事業【農業振興課・農業担い手課・環境保全農業課・水田畑作課・園芸課・畜産課】

(1) 目的

原子力発電所事故の影響により農産物生産の中止を余儀なくされた原子力被災地域の復興に向けて、福島県営農再開支援事業、原子力被災12市町村農業者支援事業及び福島県高付加価値産地展開支援事業を統合し、一体的に推進することにより営農再開の加速化と広域的な高付加価値産地の形成を支援する。

(2) 事業内容

ア 福島県営農再開支援事業

(ア) 除染後農地等の保全管理

原則、除染作業が完了した農地のうち、将来、営農が再開される見込みのある農地であって、営農が再開されるまでの間、当該農地における除草等の保全管理、地力増進作物の作付や肥料・土壌改良資材の施用等の土づくり、営農再開に必要不可欠な農道及び用水路等の除草、清掃及び補修の取組を支援する。

(イ) 鳥獣被害防止緊急対策

避難地域等の営農再開に向けて阻害要因となる野生鳥獣対策のため、被害防止活動の実施や被害防止施設の整備などの取組を支援する。

(ウ) 放れ畜対策

東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径20km圏内で放れ畜となった牛等について、営農再開や帰還の支障となっているものの捕獲に向けた柵等の整備、捕獲、マーキング等の作業等を実施する。

(エ) 営農再開に向けた作付・飼養実証

a 稲の実証栽培

令和4年産稲の作付再開準備区域等において、区域内に農地を有する農家等が帰還後に安心して水稻栽培を再開できる技術体系を実証する取組を支援する。

b 野菜等の出荷等制限解除

避難指示解除準備区域等において、ハウレンソウ等の非結球性葉菜類、キャベツ等の結球性葉菜類、ブロッコリー等のアブラナ科花蕾類、カブ等の出荷制限等の解除に向けた実証栽培を行う。

c 野菜、花き及び飼料作物の実証栽培

避難指示解除準備区域等において、野菜、花き及び飼料作物の営農再開に向け、収量・品質を確保する栽培管理等の手法を実証するための取組を支援する。

d 家畜の飼養実証

域畜産の営農再開に向けて、安全な畜産物が生産できることを確認するための乳牛及び肉用牛の飼養実証に必要な経費を支援する。

e 実証研究

避難区域等において、農業者の営農再開に対する不安を払拭することで地域の営農再開等を進めるため、県が地域の協力のもと、営農再開を希望する現地ほ場において、既存研究成果等を活用した実証栽培を行う。

(オ) 避難農家の農地を管理耕作する者への支援

避難指示の解除や除染の終了等により営農再開が可能となった農地のうち、避難先からすぐに帰還しない農家の農地等を作業受託組織等が一時的に水稻、大豆、飼料作物などを栽培して管理耕作する場合に必要な農業機械の導入等を支援する。

(カ) 放射性物質の交差汚染防止対策

放射性物質が付着した粃すり機等を使用することにより、農産物が放射性物質に汚染されることを防止するため、交差汚染防止対策の実施・指導に係る取組や粃すり機等のとも洗いに係る経費を支援する。

(キ) 水稻の作付再開支援

除染が終了した水田のうち、次年度に作付が再開される見込みの水田について、作付再開に必要な耕盤再形成や均平化のための代かき、獣害により損傷を受けた畦畔の修復に係る取組を支援する。

(ク) 除染後農地の地力回復支援

a 堆肥・酸度矯正資材の施用による地力回復

令和4年産稲の作付再開準備区域等において、区域内に農地を有する農家等が帰還後に安心して水稻栽培を再開できる技術体系を実証する取組を支援する。

する。

b 緑肥の作付け

除染特別地域で表土剥ぎによる除染を実施したほ場における緑肥の作付けを行うための経費を支援する。

c 野菜、花き及び飼料作物の実証栽培

除染特別地域で表土剥ぎによる除染を実施したほ場における大型機械による深耕、除れき、排水対策及び乾土均平を行うための経費を支援する。

(ケ) 地域営農再開ビジョン策定支援

避難指示区域等の営農再開に向けて、農業者の意向把握、担い手の再編、農地の集積など地域営農の展望（ビジョン）を総合的に検討するための取組を支援する。

(コ) 放射性物質の吸収抑制対策

土壌等に蓄積した放射性物質の農作物への移行の低減を図るため、カリ質肥料等の施用、低吸収品目・品種等への転換、果樹等の改植・剪定、反転耕・深耕の対策を支援する。併せて、避難指示解除区域で除染後農地を活用した飼料作物の作付と、生産された飼料の県内流通に必要な供給体制の整備、飼料分析等を支援、吸収抑制対策（カリ質肥料の散布）を実施した牧草地を対象として、土壌分析結果に基づく苦土石灰の施用を支援する。

(サ) 放射性物質の吸収抑制対策の効果的な実施体制の整備

放射性物質の吸収抑制対策等を効果的に実施するため、土壌・農産物等の分析、カリ散布状況等を記載した台帳の整備や現地調査の実施などの取組を支援する。

(シ) 特認事業

原子力発電所事故によって中止を余儀なくされた農産物生産の再開及び出荷制限等の解除への取組を阻害する課題に迅速に対応するための取組を支援する。

a 営農再開に向けた復興組合支援

復興組合等が営農再開に向けた農地の保全管理等の事業に取り組む際に必

要となる経費を支援する。

b 稲作生産環境再生対策

作付中止期間に獣害により損傷した畦畔等の修復や追加的に必要となった雑草等の防除のほか、避難区域等以外の地域における交差汚染を防止するための柵すり機等のとも洗いなどの取組を支援する。

c 農業者の安全管理支援

農業者が安心して営農できるよう、放射線に関する健康講座の開催等、農業者の安全管理を支援する。

d 作付再開水田の漏水対策

長期間にわたって水稻の作付を休止した水田における作付再開を円滑に推進するため、通常の営農活動に追加して行う漏水対策を支援する。

e 作付再開に伴う水稻苗の供給支援

米全量生産出荷管理等の対象区域において、水稻苗の育苗を他市町村で行う場合、生産した苗の区域内への輸送に必要な掛かり増し経費を支援する。

f 避難指示解除区域における飼料生産供給対策

避難指示解除区域で除染後農地を活用した飼料作物の作付と、生産された飼料の県内流通に必要な供給体制の整備、飼料分析等を支援する。

g 除染後牧草の品質・生産性回復対策

原発事故後に除染と吸収抑制対策（カリ質肥料の散布）を実施した牧草地を対象として、土壌分析結果に基づく苦土石灰の施用を支援する。

h 有害鳥獣生息状況調査に基づく被害防止対策パッケージ実施支援

県が市町村と連携し、イノシシ、ニホンザル等の生息状況等の把握などにより、対象地域内の状況を踏まえた総合的な対策を講じる体制整備を支援する。

i 集落単位等で農地を作付管理する地域への支援

集落ぐるみでの地域営農の再構築を図るため、実践モデルほ場の設置や農業用機械のリース導入、農地の作付管理等を支援する。

j 担い手への農地集積に向けた準備への支援

地域営農再開ビジョン等により担い手への農地集積が見込まれる農地について、当該農地における除草等の荒廃防止、地力増進作物の作付や肥料・土壌改良資材の施用等の土づくり、営農再開に必要な不可欠な農道及び用水路等の除草、清掃及び補修の取組を支援する。

k 作付再開農地の除草

営農再開が見込まれる農地において、作付再開に着実に取り組む場合の除草の取組を支援する。

イ 原子力被災12市町村農業者支援事業

原子力被災12市町村において営農再開を行う農業者に対して、必要な機械の導入や施設の整備等にかかる費用を補助する。

ウ 福島県高付加価値産地展開支援事業

(ア) 推進事業

高付加価値産地の展開に必要な下記の取組を支援する。

a リース方式による農業機械等の導入

b 省力かつ儲かる生産体系構築に向けたモデル実証

c 被災地域における人材確保・育成

d 産地協議会の運営・調査・計画策定

(3) 事業主体 ア 県、市町村、農業協同組合、農業者の組織する団体等

イ 農業者、農業者の組織する団体、法人等

ウ 県、市町村、農業協同組合、農業者の組織する団体、民間事業者等

(4) 事業費 3,701,454千円（国一千円、県45,000千円、その他3,656,454千円）

(5) 補助率 ア 定額、1／2以内

イ 3／4以内

ウ 機械リース 国3／4以内、県9／40以内（震災復興特別交付税措置予定）

機械リース以外 定額

(6) 事業期間 令和8年度～令和12年度

16 農林水産物等緊急時モニタリング事業

【環境保全農業課】

(1) 目的

県産農林水産物等の安全性を確保するため、緊急時モニタリング検査を実施するとともに、その結果を生産者や消費者、流通業者に迅速に公表する。

(2) 事業内容

本県産の農林水産物等のモニタリング検査を実施し、検査結果を公表する。

（玄米、穀類、野菜、果実、原乳、肉類、鶏卵、水産物、きのこ、山菜類、飼料作物等）

(3) 事業主体 県

(4) 事業費 410,836千円（国410,284千円、県一千円、その他552千円）

(5) 事業期間 平成25年度～令和8年度

17 農畜産系有機性資源活用推進事業

【環境保全農業課】

(1) 目的

農畜産系有機性資源の放射性物質の影響を把握し、有機質農業資材及び農産物の安全性を確保する。

また、令和2年度に改正された国のガイドラインや肥料法に対応した有機性資源の管理体制を整備し、農業者、事業者等に適正利用の指導を行う。

(2) 事業内容

ア 有機性資源の放射性物質等検査及び安全性指導

有機性資源の原料及び原料採取地等の調査、堆肥化等の生産工程管理の検査、指導、報告等を行う。

イ 県産有機性資源の適正利用支援事業

国のガイドラインに基づき、自治体等が構成する協議会の設置、原料、生産工程、有機質土壌改良資材等の管理に必要な経費を支援するウ 家畜排せつ物等流通支援事業

ウ 県産有機性資源の利用・流通調査

国の有機性資源の利用の自粛解除にともない、県内有機性資源の発生状況及び利用に関する影響等の調査結果を基に本県産有機性資源の利用向上のための検討を行う

- (3) **事業主体** ア、ウ 県 イ 市町村、団体等
- (4) **事業費** 15,244千円（国一千円、県 15,244千円、その他一千円）
- (5) **補助率** イ 1／2以内（上限2,000千円）
- (6) **事業期間** 平成24年度～令和12年度

18 畜産環境保全対策事業 【環境保全農業課】

(1) 目 的

家畜排せつ物の適正処理及び利用促進とともに畜産環境の保全対策を図るため、家畜排せつ物法に基づく、畜産農家への立入検査及び適正管理に向けた指導助言等を行うとともに、家畜排せつ物等の高度利用並びに循環利用の促進に関する支援を行う。

(2) 事業内容

ア 家畜排せつ物の管理の適正処理の検査、指導

家畜排せつ物法に基づく、畜産農家への立入検査及び適正管理に向けた指導助言等を行う。

イ 家畜排せつ物等循環利用促進事業

(ア) 家畜排せつ物等循環利用促進事業

家畜排せつ物、堆肥の利用の促進を目的とした堆肥生産等の指導、技術導入の支援を行う。

(イ) 家畜排せつ物等高度利用技術支援事業

家畜ふん尿堆肥の高度利用（堆肥のペレット化等）の調査・研究、技術開発等を行う。

ウ 家畜排せつ物等流通支援事業

(ア) 特殊肥料流通支援事業

家畜排せつ物及び堆肥の流通に必要なとなる品質表示や有機JAS適合資材認証の取得などの経費を支援する。

(イ) 地域循環利用支援事業

家畜排せつ物堆肥の地域内循環利用の促進を図るため、耕畜連携など地域ぐるみで堆肥を利用する取組に必要な経費を支援する

- (3) **事業主体** ア、イ 県 ウ(ア) 堆肥生産者（特殊肥料届出事業者）等
ウ(イ) 市町村、JA、協議会 等
- (4) **事業費** 12,355千円（国一千円、県202千円、その他 12,153千円）
- (5) **補助率** ウ(ア) 定額（上限500千円）、
ウ(イ) 定額（備品購入費は1／2以内）（上限1,500千円）
- (6) **事業期間** 平成24年度～令和8年度

19 家畜疾病経営維持資金利子補給等事業

【農業経済課】

(1) 目 的

鳥インフルエンザの発生により影響を受けた養鶏農家等が、家畜疾病経営維持資金を利用する際、国による利子補給とは別に県が利子補給の上乗せを行うとともに、債務保証料を県が負担することにより、実質無利子、無保証料による資金の円滑な融通を図る。

(2) 事業内容

ア 利子補給事業

家畜疾病経営維持資金の融通を行った融資機関に対し借受者の負担を軽減するため利子補給を行う。

令和8年度融資枠 5億2千万円

イ 保証料補助事業

借受者が負担する家畜疾病経営維持資金の債務保証料の全額を福島県農業信用基金協会に補助する。

(3) 事業主体

- ア 利子補給事業 農業協同組合等融資機関
イ 保証料補助事業 福島県農業信用基金協会

(4) 事業費

- ア 利子補給事業 7,573千円（国一千円、
県7,573千円、その他
一千円）
- イ 保証料補助事業 14,682千円（国一千円、
県14,682千円、その他
一千円）

(5) 補助率

- ア 利子補給率 借受者が負担する貸付
利率
- イ 保証料補助率 借受者が支払う保証料
の10 / 10

(6) 事業期間 令和4年度～令和8年度

20 ふくしまプライド農林水産物販売力強化事業
【農産物流通課・園芸課・畜産課】

(1) 目的

福島ならではの強みを活かしたブランド化の推進や常に消費者の手が届く環境を拡大するためのさらなる販売棚の確保、情報発信によるイメージ向上の取組等により、県産農林水産物の価格ポジションを震災前の水準に戻すことで、本県の基幹産業である農林水産業の復興を目指す。

(2) 事業内容

〈「ふくしま」ブランド拡大推進対策〉

福島ならではの強みを活かしたブランド力の向上を図るとともに、「オールふくしま」で販路拡大に取り組むことで、全国の消費者に本県への親近感を浸透させ、風評の払拭を目指す。

ア ふくしま農林水産物ブランディング事業

県産農林水産物の更なるブランド力向上のため、消費者に魅力や価値が伝わるような販売促進フェアを開催するとともに、フェアを通じ流通関係者との関係性を強化し、店舗などにおける定番品としての採用や新規取扱の創出を狙う。

マーケットイン調査の実施や、これまで実施した調査の結果を基に実証調査等を行うことで、マーケティング活動を強化し、

価格ポジションや販路の回復を図る。

(ア) 事業主体 県

- (イ) 事業費 276,099千円（国276,099千円、
県一千円、その他一千円）

イ 農林水産物マッチング事業

県産農林水産物の魅力、安全に対する取組への理解促進や販路拡大につなげるため、食品流通・小売・飲食店事業者を対象としたマッチング支援（商談会・交流会・産地視察等）を実施することで一層の販路拡大を図る。

(ア) 事業主体 県

- (イ) 事業費 81,110千円（国81,110千円、
県一千円、その他一千円）

ウ おいしい ふくしま いただきます！
キャンペーン事業

県内量販店等において県産農林水産物の消費拡大キャンペーンやトップセールスを行うとともに直売所等での意見交換会等を実施することで、地産地消・消費拡大を促す。

(ア) 事業主体 県

- (イ) 事業費 22,129千円（国22,129千円、
県一千円、その他一千円）

エ 全国での販売促進PR

県産農林水産物等の一層の販路回復・拡大を図り風評を払拭するため、関係団体等と連携したトップセールス等により、流通・販売事業者の経営者層や消費者への働きかけを行う。

(ア) 事業主体 県

- (イ) 事業費 10,850千円（国10,850千円、
県一千円、その他一千円）

オ ふくしま米ブランド化推進事業

(ア) 「福、笑い」ブランド化推進事業

県トップブランド米「福、笑い」のブランディングにかかる取組を実施する。

(イ) ふくしま米販路拡大推進事業

福島県産米応援店の制度運用等により、県産米の販路拡大に取り組む。

(ウ) ふくしま米消費拡大推進事業

県産米の消費率向上と認知度向上に取

り組み、県産米の消費拡大を図る。

a 事業主体 (ア)・(イ)県、(ウ)福島県米消費拡大推進会議

b 事業費 232,131千円(国232,131千円、県一千円、その他一千円)

カ ふくしまの畜産ブランド再生事業

(ア) おいしい「ふくしまの畜産」消費拡大事業

畜産物の消費拡大イベントを実施するとともに畜産団体の取組を支援する。また、オンライン・SNS等を活用した畜産物のPRを行う。

(イ) 「福島牛」ブランド再生事業

「福島牛」ブランドの復興に向けた安全性・おいしさのPRや販路拡大等を支援する。

(ウ) うまい! 「福島県産牛」生産・販売力強化対策事業

酒粕を給与した福島牛「福粕花」のPRにより、福島県産牛の販売促進を支援する。

a 事業主体 県、全国農業協同組合連合会福島県本部、福島牛販売促進協議会、畜産団体

b 事業費 82,875千円(国82,875千円、県一千円、その他一千円)

キ 使ってふくしま! 契約野菜産地育成事業
加工・業務用野菜の取引拡大を目的に、マッチング商談会及びセミナー等各種イベントを開催し、契約野菜の新たな販路確保と産地育成を図る。また、おたねにんじんの食用としての認知度向上と「2年もの」の販路を確保する取組を支援する

(ア) 事業主体 県

(イ) 事業費 11,024千円(国11,024千円、県一千円、その他一千円)

ク 「ふくしまプライド。」県産農林水産物販売力強化支援事業

県内の農業者団体等が風評の払拭に向けて国内で実施する、県産農林水産物等の販路拡大や、消費拡大のためのPRやブランド力強化の取組を支援する。

(ア) 事業主体 県

(イ) 事業費 90,400千円(国90,400千円、県一千円、その他一千円)

ケ ふくしま旬の食材等活用推進事業

県産農林水産物等に対する風評払拭のため、学校等給食における県産農林水産物及び県産加工品等の地場産物の活用率を上げるほか、食育を推進する。

(ア) 事業主体 県

(イ) 事業費 51,009千円(国51,009千円、県一千円、その他一千円)

コ 農産物直売所等ネットワーク強化事業

地産地消のプラットフォームである直売所・道の駅間のネットワークを強化し、販売拡大につなげるための取組を創出する。

(ア) 事業主体 県

(イ) 事業費 6,253千円(国6,253千円、県一千円、その他一千円)

〈オンラインストアによる販売促進〉

県産農林水産物が常に消費者等の手に届く環境を拡大することで、国内マーケットにおける本県産品の地位の確立を図る。

ア オンラインストアによる販路拡大

オンラインストアへ出店する事業者への費用助成や事業者のEC販売力を高めるセミナーの開催などにより、県内生産者の販路の拡大を図る。

(ア) 事業主体 県

(イ) 事業費 95,600千円(国95,600千円、県一千円、その他一千円)

イ ポータルサイトを活用した販売促進

ふくしまプライド。ポータルサイトにおいてECサイトで販売を行う事業者や商品の情報等を紹介し、効果的な情報発信を行うなどにより、県産農林水産物の販売を促進する。

(ア) 事業主体 県

- (イ) 事業費 55,000千円(国55,000千円、
県一千円、その他一千円)

〈農林水産物戦略的情報発信〉

科学的根拠に基づく県産農林水産物の安全性を多言語で分かりやすく発信することで安心につなげるとともに、テレビCM等の活用により魅力を全国に向けて発信することでイメージ向上を図り、風評の払拭を目指す。

ア 「ふくしまプライド。」情報発信事業

県産農林水産物に対するイメージ向上を図るため、消費者への影響力の大きいテレビCM等を活用し、効果的な情報発信を実施する。また、CMの効果や風評に関する調査を実施する。

(ア) 事業主体 県

- (イ) 事業費 209,646千円(国209,646千円、
県一千円、その他一千円)

イ 食品モニタリング検査情報発信事業

放射性物質モニタリング検査結果を公表するWEBサイトを運用することで、科学的根拠に基づく情報を発信し、県産食品の安全に関する理解を深める。

(ア) 事業主体 県

- (イ) 事業費 6,348千円(国6,331千円、
県一千円、その他17千円)

(3) 事業期間 平成30年度～令和8年度

21 産地生産力強化総合対策事業

【園芸課・水田畑作課・畜産課】

(1) 目 的

担い手の減少や労働力不足が進む中、農業産出額の向上を目指すためには、省力化や高品質かつ安定した農業生産を図る産地の生産力強化が不可欠であり、園芸振興推進体制の構築や県オリジナル品種等優良種苗の導入、各種作物の省力・低コスト化や高品質化のための機械・施設の導入や水源確保等について支援する。

(2) 事業内容

ア 産地育成推進事業

関係機関・団体が一体となって園芸振興に取り組む推進体制を構築するとともに、県オリジナル品種の普及を強力に進める。

イ 産地育成整備事業

(ア) 園芸作物支援対策

a 新規園芸品目導入支援事業

水稲から園芸品目への転換促進や永年性作物の初期生産資材への助成など、市町村、JA等が主体となった新規栽培者の確保・定着の取組を支援する。

- (a) 事業主体 市町村、農業公社、農業協同組合、地域農業再生協議会、農業法人、営農集団、農業法人等

b 省力化支援事業

水田の活用や契約出荷の取組など、作付面積の拡大や、出荷量増加を図るための省力機械等の導入を支援する。

- (a) 事業主体 市町村、農業協同組合、営農集団、農業法人等

c 生産力強化支援事業

生産量・品質の向上により産地の販売額向上を図るための施設化や高品質安定生産を図るための装置等の導入を支援する。

- (a) 事業主体 市町村、農業協同組合、営農集団、農業法人等

(イ) 土地利用型作物支援対策

大豆、麦類、そば、なたね等、飼料作物及び主要農作物(稲・麦類・大豆)種子の生産について、低コスト化、高品質化及び生産拡大を図るために必要な機械・機器等の導入を支援する。

- a 実施団体 市町村、農業協同組合、営農集団、農業法人等

- (3) 事業費 ア 641千円(国一千円、県641千円、その他一千円)

- イ 42,900千円(国一千円、県42,900千円)

- (4) 補助率 イ 1／3以内、4／10以内、1／2以内、定額

- (5) 事業期間 令和8年度～令和12年度

地方競馬ミルクウィーク開催

福島県馬事畜産振興協議会

牛乳・乳製品の消費拡大の一助となるべく、地方競馬が一丸となった取組み「地方競馬ミルクウィーク」が開催されました。そして、消費拡大につながるPR活動を通じて日本の酪農を応援すべく、全国14の地方競馬場で地域の牛乳・ヨーグルト等の乳製品の配布や冠レースが実施されました。

当協議会では、令和8年3月15日(日)、水沢競馬場(岩手県奥州市)にて行われた本イベントに参加しました。その他東北各県の協議会も参加

し、それぞれの地域の乳製品を配布するなどPR活動が行われました。

当日は、午前の部は開門の午前11時から、午後の部は午後1時から、2回に分けて配布が行われ、どちらも長蛇の列が出来るほど大盛況でした。

また、同日の第4レース「がんばれ! 福島県の酪農応援賞」においては、優勝騎手・馬主・調教師・厩務員へ、褒賞として福島県産乳製品(目録)の授与を行いました。

地方競馬からの♡エールを、日本の酪農家へ



優勝した岩本怜騎手へ褒賞を授与

配布乳製品

- 青森県馬事畜産振興協議会
斗南丘牧場ののむヨーグルト
プロテオグリカンのむヨーグルト 200 セット
- 秋田県馬事畜産振興協議会
J・ヨーグルトコーヒー® 200 個
- 宮城県地域畜産振興対策協議会
フロム蔵王プレーンヨーグルト
芳醇カフェ・オ・レ 200 セット
- 山形県馬事畜産振興協議会
奥羽そだち(200ml)
県産こだわりのヨーグルト 200 セット
- 福島県馬事畜産振興協議会
酪王牛乳、酪王カフェオレ
酪王ののむヨーグルト 200 セット
- 岩手県競馬振興協議会
小岩井牛乳マイクロパック 200ml(2本)
小岩井コーヒーマイクロパック 200ml(1本) 200 セット
- 日本乳業技術協会
蔵王酪農ミルクキューブ(チーズ) 90g 300 個



乳製品配布の様子

肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン制度） 発動状況

(単位：円)

販売月		肉専用種（東北ブロック福島県）	交雑種（全国）	乳用種（全国）
令和8年2月	暫定単価	0	0	30,975.3
	概算払い単価	0	0	23,975.3
	精算払い単価	0	0	7,000.0

※生産者負担金の猶予対象牛(コロナ対策)については支払い交付単価の3/4の支払となります。

※R4. 7月販売分より概算払単価は、標準的生産費と標準的販売価格との差額に100分の90を乗じた額から7,000円を控除した額となります。

福島の大自然とみつばちからの恵み



天然はちみつをどうぞ

美容と健康に
おいしく
はちみつはいかが！

福島県養蜂協会

〒960-8502

福島市南中央三丁目36番地（福島県畜産振興協会内）

TEL 024-573-0515 FAX 024-573-0565

御用命は

- ◎牛用・豚用・鶏用
各種ワクチン類
- ◎家畜防疫資材
- ◎家畜用医薬品
- ◎家畜用衛生資材

福島県動物薬品器材協会
事務局 株式会社アスコ内
☎(024)3631-4888

小田島商事株式会社
福島市鎌田字卸町十一の四
☎(024)5531-6678

郡山市安積町笹川字平の上二一
☎(024)9451-3306

日本全薬工業株式会社
福島営業所

郡山市開成六丁目三六七一
☎(024)9541-4171

株式会社アグロジャパン
南東北営業部（福島）

伊達市梁川町字東塩野川二五一
☎(024)5771-3121

日新殖産株式会社

本宮市本宮字下台18-12
☎(024)631-2488

株式会社アスコ

『動物用医薬品は、
正しく使用し、
休薬期間を
厳守しましょう』



動物と人の間に、いつもゼノアック。



日本全薬工業株式会社
福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1
www.zenoaq.com



品質と信頼の

くみあい配合飼料

JA全農グループ

JA全農くみあい飼料株式会社

北日本事業本部

〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野一丁目12-1 いちご仙台イーストビル
TEL (022) 792-8040 (代表)

南東北支店 福島営業所

〒963-0725 郡山市田村町金屋字川久保23 JA全農福島郡山ビル2F
TEL (024) 941-0825
FAX (024) 941-0827

東北農政局福島県拠点の移転のお知らせ

東北農政局

日頃より農林水産行政にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、東北農政局福島県拠点は、令和8年3月23日（月）より下記の住所へ移転し業務を行って

おりますので、お知らせいたします。

なお、電話番号につきましては、下記のとおり従来の番号を引き続き使用しております。

新住所

〒960 - 8021

福島県福島市霞町1 - 46 福島合同庁舎5階

電話番号

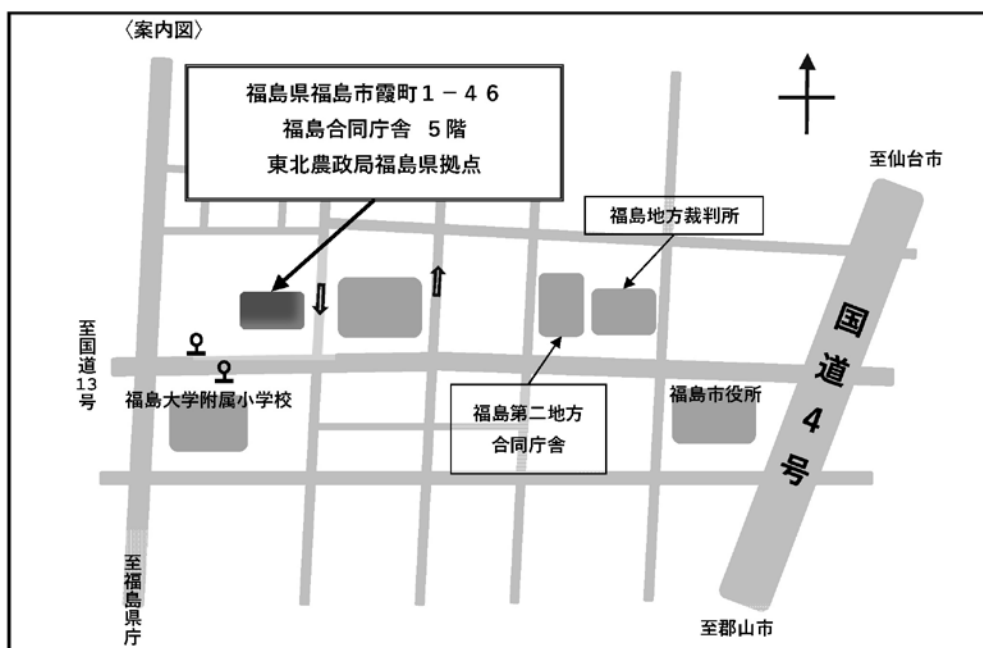
024 - 534 - 4141（代表）

024 - 534 - 4142（地方参事官室 総合窓口）

024 - 534 - 4157（経営所得安定対策担当（経営））

024 - 534 - 1114（経営所得安定対策担当（生産））

024 - 534 - 1903（統計担当）



JR福島駅東口から徒歩約21分

「附属小前」バス停下車、徒歩約1分

肉用子牛のための「強化」哺育専用代用乳」ができました!!



“強化”哺育とは…

- ・子牛が本来もっている発育能力をフルに発揮させる哺乳方法です。
- ・従来の粉ミルクとは全く違った栄養バランスの粉ミルクを、通常よりも多く給与することにより、フレームのしっかりした牛に育ちます。また、固形飼料の摂取量低下を防ぎ、より食い込める素牛への成長を助けます。

福島県酪農業協同組合 〒969-1103 本宮市仁井田字一里壇17 TEL：0243-33-1101(代)

令和8年度 農林水産部の新体制（畜産関係職員名簿）（令和8年度）4月1日版

所 属	職 名	氏 名	住所・電話・FAX
農林水産部	部 長	小 貫 薫	〒 960-8670 福島市杉妻町 2-16
農林企画課	主 幹 主 査	岡田 徹 関 航	TEL 024-521-7319 FAX024-521-7944
農業振興課	主 幹 主任主査 主 査 主任主査 主 査 課 長 副課長兼主任主査	松澤 保 内田 守譜 渡邊 銅一 関澤 春仁 三浦 紗美 網中 潤 新谷 真美	TEL 024-521-7339 FAX024-521-7937 TEL 024-521-7344 TEL 024-521-7336 TEL 024-521-7320
環境保全農業課			
水田畑作課 畜産課	主任主査 課 長 主 幹 副課長兼主任主査兼ふたば復興事務所次長 主任主査（畜政担当） 主 査 主 査 副主査 技 師 主任主査（酪農担当） 副主査 技 師 主 事 主任主査（肉用牛家畜担当） 副主査 技 師 主 事 主任主査（飼料・環境担当） 副主査 技 師 専門獣医技師（家畜衛生担当） 主任獣医技師 副主任獣医技師	柳田 和弘 吉田 安宏 三瓶 直樹 荒 直樹 湯坐 久 青山 勝也 藤田 裕貴 木村 春日 尾又 駿太郎 大島 健司 小松 一樹 猪腰 雄也 鈴木 彪雅 京谷 隆侍 堀切 真太郎 松田 祐輝 平間 仁 妹尾 毅 石川 拓磨 四家 未晴 大倉 直子 橋本 知彦 齋藤 大士	TEL 024-521-7369 TEL 024-521-7366 FAX024-521-7939 TEL 024-521-7365 TEL 024-521-7365 TEL 024-521-7364 TEL 024-521-7364
県北農林事務所 農業振興普及部	主 査 主 査	沼 玲子 寺田 俊介	〒 960-8670 福島市杉妻町 2-16 TEL 024-521-2604 FAX024-521-2851 TEL 024-521-2608
伊達農業普及所	専門員	深谷 寿之	〒 960-0634 伊達市保原町大字大泉字大地内 124 TEL 024-575-3181 FAX024-575-3064
安達農業普及所	技 師 専門員	田尻 優生 遠藤 亮子	〒 964-0915 二本松市金色 424-1 TEL 0243-22-1127 FAX0243-22-5839
県中農林事務所 農業振興普及部	部 長 農業振興課長 主任主査 専門員 技 師 技 師	志賀 忠市 鈴木 浩之 片倉 真沙美 積口 和司 小柳 穂奈乃 佐藤 まりも	〒 963-8540 郡山市麓山 1 丁目 1 番 1 号 TEL 024-935-1317 TEL 024-935-1307 FAX024-935-1514 TEL 024-935-1310 FAX024-935-7030
田村農業普及所	所 長 経営支援課長 技 師 専門員	生沼 英之 横田 和子 齋藤 朋華 鈴木 庄一	〒 963-7704 田村郡三春町大字熊耳字下荒井 176-5 TEL 0247-62-3113 FAX0247-62-6069
須賀川農業普及所	次長兼地域農業推進課長 主 査 技 師	角田 明子 金澤 忍 國分 真生	〒 962-0823 須賀川市花岡 34-2 TEL 0248-75-3180 FAX0248-72-8331 TEL 0248-75-2180

畜 産 福 島

所 属	職 名	氏 名	住所・電話・FAX
県南農林事務所 農業振興普及部	主 査 技 師 専門員	佐藤 三枝 服部 奏斗 緑川 史子	〒 961-0971 白河市昭和町 269 TEL 0248-23-1556 TEL 0248-23-1562 FAX0248-23-1559
会津農林事務所 農業振興普及部	地域農業推進課長 主任主査 技 師 技 師	佐藤 光洋 一条 晶恵 宗像 真由美 添田 梨紗子	〒 965-8501 会津若松市追手町 7-5 TEL 0242-29-5306 FAX0242-29-5314 TEL 0242-29-5303
喜多方農業普及所	次長兼地域農業推進課長 副主査	富永 哲 松崎 稔史	〒 966-0901 喜多方市松山町鳥見山字下天神 6-3 TEL 0241-24-5741 FAX0241-24-5746 TEL 0241-24-5744
会津坂下農業普及所	所長兼農業振興普及部主幹 主 査	齋藤 浩光 齋藤 英恵	〒 969-6506 河沼郡会津坂下町大字見明字南原 881 TEL 0242-83-2113 FAX0242-82-3951
相双農林事務所 農業振興普及部	所 長 地域農業推進課長 主任主査 技 師 技 師 技 師	本多 巖 高村 博之 大矢 浩司 羽根田 柚 寺崎 汰一 根本 陽奈	〒 975-0031 南相馬市原町区錦町 1 丁目 30 TEL 0244-26-1151 FAX0244-26-1169 TEL 0244-26-1249
双葉農業普及所	所 長 主任主査 技 師 技 師	中村 弥 熊谷 有子 野口 泰世 宮崎 美沙	〒 969-1111 双葉郡富岡町小浜 481 TEL 0240-23-6473 FAX 0240-22-2560
いわき農林事務所 農業振興普及部	副部長 主 査	木幡 和宏 坂本 利彦	〒 970-8026 いわき市字梅本 15 TEL 0246-24-6154 FAX0246-24-6196 TEL 0246-24-6161
中央家畜保健衛生所	所 長 主任専門獣医技師兼次長 衛生指導課長 主任主査 主任獣医技師 副主任獣医技師 副主任獣医技師 技 師 専門員 専門員 防疫課長 主任獣医技師 獣医技師 獣医技師 獣医技師 専門員 専門員 専門員 病性鑑定課長 主任獣医技師 副主任獣医技師 副主任獣医技師 副主任獣医技師 獣医技師 安全対策・監視課長 主任獣医技師 副主任獣医技師	小森 淳子 鎌田 泰之 武田 枝理 鈴木 ひろみ 山田 高子 小川 彩香 杉内 信哉 佐々木 美羽 宗像 良二 門屋 義勝 星 陽子 宮野 英喜 吉田 朋恵 高山 湧太 澤田 剛志 野崎 達雄 松井 安弘 田中 純子 稲見 健司 清野 頼十 喜多見 はるか 篠田 肇 岩永 海空也 鈴木 桃香 佐藤 敦子 神川 彩香 稲葉 俊祐	〒 963-6311 石川郡玉川村大字岩法寺字新屋敷 114-12 TEL 0247-57-6131 FAX0247-57-6144 TEL 0247-57-6132 TEL 0247-57-6139
県北家畜保健衛生所	所 長 主任専門獣医技師次長兼衛生指導課長 主 査 主任獣医技師 技 師 防疫課長	藤本 尊雄 原 恵 浅野 雅文 田川 麻衣 菅野 那奈 穂積 愛美	〒 960-8132 福島市東浜町 5-18 TEL 024-531-1301 FAX024-531-6810

畜 産 福 島

所 属	職 名	氏 名	住所・電話・FAX
	副主任獣医技師 獣医技師 獣医技師	蛭田 彩子 松平 あかり 山本 寛也	
会津家畜保健衛生所	所 長 次長兼衛生指導課長 主 査 主任獣医技師 技 師 防疫課長 主任獣医技師 主任獣医技師	秋元 稷 白田 聡美 宇佐美 悦子 横山 浩一 長嶺 理緒 三瓶 佳代子 佐藤 東 今井 直人	〒 965-0077 会津若松市高野町大字上高野字村前 90 番地 TEL 0242-25-0599 FAX0242-25-0799
相双家畜保健衛生所	所 長 主任専門獣医技師兼次長兼衛生指導課長 副主任獣医技師 副主任獣医技師 主 事 防疫課長 獣医技師	山本 みどり 千葉 正 齋藤 由美子 石田 真菜 岩谷 優汰 山本 伸治 金田 志緒理	〒 975-0033 南相馬市原町区高見町 1 丁目 276-1 TEL 0244-24-3451 FAX0244-24-3614
農業総合センター	主任専門研究員 主任研究員 主 査	石川 雄治 丹治 利佳子 宮本 拓平	〒 963-0531 郡山市日和田町高倉字下中道 116 TEL 024-958-1700 FAX024-958-1726 TEL 024-958-1734 FAX024-958-5322
企画経営部 企画技術科 安全農業推進部 分析課 畜産研究所 事務室	所 長 副所長兼動物工学科長 主任主査 主 査 専門員 主任研究員 研究員 酪農科長 研究員 研究員 肉畜科長 主任研究員 研究員 研究員 研究員 養鶏科長 研究員 飼料環境科長 主任研究員 研究員	佐藤 亮一 松本 裕一 末永 奈保 八城 美代子 佐藤 朱美 瀧脇 広子 谷内田 柊 新妻 恭子 亀井 結佳 河野 佑美 遠藤 幸洋 尾形 賢治 戸田 宗生 岡 直樹 堀江 大樹 佐藤 妙子 橋矢田 健人 萩原 瞳 中村 フチ子 佐藤 ひのき	〒 960-2156 福島市荒井字地藏原甲 18 TEL 024-593-1096 FAX024-593-4977
動物工学科			
酪農科			TEL 024-593-1222
肉畜科			TEL 024-593-1223
養鶏科			TEL 024-593-1228
飼料環境科			TEL 024-593-4159
畜産研究所沼尻分場	分場長 主任研究員 主 事 研究員	古閑 文哉 齋藤 美緒 加藤 励 三宅 巧馬	〒 969-2752 耶麻郡猪苗代町大字蚕養字日影山乙 3696 TEL 0242-64-3409 FAX0242-64-2844
浜地域農業再生研究センター	主任研究員	木村 有希	〒 975-0036 南相馬市原町区萱浜字渠掛場 45 番 169 TEL 0244-26-9562 FAX0244-26-9563
農業短期大学校	副校長兼農業経営部長 畜産経営学科長 教務主任 教務主任 教務主任 教 務 教務主任 教 務	柳沼 浩 壁谷 里織 矢内 伸佳 大原 弓佳 河原田 友美 中嶋 廉 高萩 淳子 緑川 修	〒 969-0292 西白河郡矢吹町一本木 446 TEL 0248-42-4137 FAX0248-44-4553 TEL 0248-42-4114
大阪事務所	主幹兼次長	大槻 健治	〒 530-0001 大阪市北区梅田一丁目 3 番 1-900 号 TEL 06-6343-1721 FAX06-6343-1727

福島県畜産関係団体連絡協議会名簿

(令和8年4月1日) 順不同

所 属	職 名	氏 名	住所・電話・FAX
全国農業協同組合連合会福島県本部	県本部長	菅野 康德	〒 960-0296 福島市飯坂町平野字三枚長 1-1 ☎ 024-554-3201 FAX024-554-6158
畜産部	副本部長	斎藤 好忠	〒 963-0725 郡山市田村町金屋字川久保 23 ☎ 024-983-0511 FAX024-956-5685 〒 963-0725 郡山市田村町金屋字川久保 23 ☎ 024-983-0512 FAX024-956-5685 〒 963-0725 郡山市富久山町久保田古垣 50 ☎ 024-956-2983 FAX024-943-5377 〒 108-0075 東京都港区港南 2 丁目 12-33 ☎ 090-8424-2213
	副本部長	佐藤 利明	
	部長	石川 洋	
	次長	小松 良雄	
	畜産酪農課長	鈴木 健一	
	家畜市場課長(兼)家畜せり市場長	古山 修	
	次長(兼)畜産販売課長	高久 英寿	
	畜産販売課東京畜産駐在事務所専任課長兼所長	長澤 勝弘	
福島県農業協同組合中央会	代表理事長	原 喜代志	〒 960-0294 福島市飯坂町平野字三枚長 1-1 ☎ 024-554-3040 FAX024-552-2015 ☎ 024-554-3072 FAX024-552-2786
	副会長	志賀 博之	
	常務理事	今泉 仁寿	
	参事	和田 光浩	
	部長	山田 朋世	
	課長	佐々木則仁	
		古川 明男	
福島県酪農農業協同組合	代表理事組合長	紺野 宏	〒 969-1103 本宮市仁井田字一里壇 17 ☎ 0243-33-1101 FAX0243-33-1103 〒 963-3401 田村郡小野町小野新町字宿ノ後 124 ☎ 0247-61-5226 FAX0247-61-5227 〒 961-0303 白河市東釜子字陣ヶ平 1-1 ☎ 0248-34-1410 FAX0248-34-1417 〒 979-1511 双葉郡浪江町大字棚塩字植松 24 ☎ 0240-23-5741 FAX0240-23-5743 〒 961-0303 白河市東釜子字陣ヶ平 1-1 ☎ 0248-34-1410 FAX0248-34-1417 〒 979-1511 双葉郡浪江町大字棚塩字植松 24 ☎ 0240-23-5741 FAX0240-23-5743
	副組合長理事	橋本 浩幸	
	常務理事	岩谷 宏	
	統括部長	原田 久雄	
	経営管理部長	松岡 陽慈	
	経営管理課長(兼)組織振興課長	角田 淳也	
	経営管理課長代理	土屋 博之	
	生産部長	野口 泰幸	
	購買畜産課長	佐藤 隆	
	生産指導課長	平尾 修	
	指導診療課長(兼)指導診療所長	古姓 保	
	販売課長	佐々木光輝	
	田村事務所		
	県南事務所		
	浜事務所		
	指導診療所県南事務所		
	指導診療所浜事務所		
福島県農業共済組合	組合長理事	矢部 玄幸	〒 960-8031 福島市栄町 6-6 福島セントランドビル 6F 家畜診療課 ☎ 024-521-2713 FAX024-523-5660 〒 964-0806 二本松市羽石 221-1 ☎ 0243-22-0865 FAX0243-22-0892 〒 963-4312 田村市船引町船引字和尚壇 77 ☎ 0247-82-0101 FAX0247-82-0263 〒 963-6311 石川郡玉川村大字岩法寺字湯神前 11-1 ☎ 0247-37-1171 FAX0247-37-1172 〒 961-0403 白河市表郷番沢字松上 98-2 ☎ 0248-23-2010 FAX0248-23-2021 〒 969-3545 河沼郡湯川村大字桜町字森台 77 ☎ 0241-28-0711 FAX0241-28-0252 〒 975-0038 南相馬市原町区日の出町 507 ☎ 0244-23-6148 FAX0244-23-6158
	専務理事	矢口 雅浩	
	参事	押山 謙司	
	家畜任意部長	堀籠 茂	
	家畜診療課長	須藤 芳之	
	課長補佐	菊地 裕忠	
	課長補佐	和田 理恵	
	県北家畜診療センター所長	蕪木 洋之	
	郡山田村家畜診療センター所長	樋口 貞行	
	いわせ石川家畜診療センター所長	田川 知嘉	
	白河家畜診療センター所長	武地 禎美	
	会津家畜診療センター所長	板垣 保	
	浜通り家畜診療センター所長	高橋 忠雄	

畜 産 福 島

所 属	職 名	氏 名	住所・電話・FAX
福島県獣医師会	会長 常務理事 主事	浦山 良雄 坂本 秀樹 遠藤 佳子	〒 960-8043 福島市中町 7-17 ☎ 024-522-3921 FAX024-522-3928
福島県牛乳協会	会長 事務局長	鈴木 伸洋 南條 光夫	〒 969-1104 本宮市荒井字下原 14 酪王協同乳業(株) ☎ 0243-24-6595 FAX0243-24-6596
福島県牛乳普及協会	会長 事務局長	紺野 宏 角田 淳也	〒 969-1103 本宮市仁井田字一里壇 17 ☎ 0243-33-1101 FAX0243-33-1103
(公社) 全国和牛登録協会福島県支部	支部長 副支部長 副支部長 室長	柳沼 智 八木 喜孝 星 晴博 齋藤 高史 有我 真里 本多 紗生 七海紅美子	〒 963-0725 郡山市田村町金屋字川久保 23 ☎ 024-983-0937 FAX024-956-0420
福島県養豚協会	会長 事務局長	嶋崎 裕吉 宮口 顕	〒 960-8032 福島市陣場町 1-27 ☎ 024-523-4622 FAX024-522-4130
(一社) 福島県配合飼料価格安定基金協会	理事長 常務理事 主事 主事	清水 建志 矢内 清恭 鈴木 真澄 渡邊 恵美	〒 960-8043 福島市中町 1-19 中町ビル 4 F ☎ 024-521-1764 FAX024-521-3556
福島県養鶏協会	会長	三品 清重	〒 960-8043 福島市中町 1-19 中町ビル 4 F ☎ 024-529-5657 FAX024-521-3556
(株)美土里耕産	代表取締役社長	安達 正則	〒 963-0725 郡山市田村町金屋字川久保 23 番地 ☎ 024-983-1755 FAX024-983-1765
福島県乳牛改良推進協議会	会長 事務局長	岩谷 金良 松岡 陽慈	〒 969-1103 本宮市仁井田字一里壇 17 ☎ 0243-63-2225 FAX0243-63-2226
福島県酪農ヘルパー協会	会長 事務局長	紺野 宏 角田 淳也	〒 969-1103 本宮市仁井田字一里壇 17 ☎ 0243-63-2225 FAX0243-63-2226
(株)福島県食肉流通センター	代表取締役社長 常務取締役 執行役員業務部長 総括管理事務部長 経営管理専任部長 業務部専任部長	若林 忠 佐久間 誠 寺崎 健一 菅野 和行 齋藤 敏男 穴澤 誠一	〒 963-8071 郡山市富久山町久保田字古垣 50 ☎ 024-943-3300 FAX024-943-3301
福島県養蜂協会	会長	鈴木 賢昭	〒 960-8073 福島市南中央三丁目 36 (畜産振興協会内) ☎ 024-573-0515 FAX024-573-0565
福島県家畜人工授精師協会	会長	浦山 良雄	〒 960-8073 福島市南中央三丁目 36 (畜産振興協会内) ☎ 024-573-0515 FAX024-573-0565
(公社) 福島県畜産振興協会	会長 副会長 副会長 専務理事 事務局長(兼)管理課長 管理課長補佐 専門獣医師 管理課主任 管理課主事 業務課長 業務課主事 業務課技師 業務課技師 業務課技師 業務課職員(嘱託)	紺野 宏 志賀 博之 宗田 雅之 森口 克彦 高宮 忠大 吾妻 淳子 大橋 秀一 渡邊 仁美 松原 彩夏 野田 富江 幸野せみな 八巻 拓未 熊田 朋樹 高橋 愛斗 遠藤 正任	〒 960-8073 福島市南中央三丁目 36 ☎ 024-573-0515 FAX024-573-0565 (総括畜産コンサルタント) (総括畜産コンサルタント) (農場HACCP主任審査員、JGAP審査員補) (畜産コンサルタント、農場 HACCP 指導員) (畜産コンサルタント)

※人事異動の時期は、団体により異なります。

家畜取引状況報告

令和8年3月和牛子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

(税込み)

開催月	性別	頭数 (頭)	取引価格 (円)			平均体重 (kg)	平均単価 (円/kg)	平均日齢 (日)	販売先	
			最高	最低	平均				県内	県外
3	雌	270	918,500	551,100	735,863	298	2,473	289	170	100
	雄									
	去勢	349	1,060,400	596,200	872,841	326	2,675	282	165	183
	計	619	1,060,400	551,100	812,996	314	2,591	285	335	283

令和8年3月乳子牛市場成績（県家畜市場）

福島県酪農業協同組合

(税込み)

開催月	種別	頭数 (頭)	取引価格 (円)		
			最高	最低	平均
3月 第365回	ホル雄	32	192,500	19,800	152,797
	ホル去勢				
	ホルフリー	2	52,800	40,700	46,750
	F1雌	64	271,700	48,400	193,325
	F1雄	69	275,000	55,000	217,625
	和牛雌	20	608,300	231,000	543,290
	和牛雄	57	753,500	316,800	663,165
	和牛去勢				
	計・平均	244	753,500	19,800	332,123

令和8年3月乳子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

(税込み)

開催月	資格	頭数 (頭)	取引価格 (円)			平均単価 (円/kg)	平均体重 (kg)
			最高	最低	平均		
3	乳登						
	妊娠牛						
	E T 和雌	2	565,400	506,000	535,700	5,668	95
	E T 和雄	6	678,700	490,600	568,700	5,234	109
	乳雌牛						
	乳雄牛	13	173,800	29,700	99,592	1,262	79
	乳去勢子						
	F1雌(育成)						
	F1去(育成)						
	F1雌(スモール)	37	283,800	114,400	211,259	2,878	73
	F1雄(スモール)	35	260,700	108,900	233,545	2,955	79
	計・平均	93	678,700	29,700	234,076	2,962	79

牛も安心 地球も安心

福島県推奨のたね

県奨励品種優良牧草・飼料作物種子
福島県畜産振興協会〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地
Tel 024-573-0515
Fax 024-573-0565

地方競馬 場外発売日程

(大井競馬専用場外)TEL.024-554-0040

(6月)

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
ニュートラック 福島			園田						園田							園田							園田						船橋	盛岡
	水沢		名古屋					水沢		笠松					水沢		名古屋					水沢		笠松					大井	
		船橋				JRA	JRA		大井				JRA	JRA		川崎				JRA	JRA		浦和				JRA	JRA		

(7月)

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
曜	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
ニュートラック 福島	盛岡		園田	盛岡				盛岡		笠松					盛岡		園田				盛岡		園田					盛岡		園田			
		大井															浦和						大井						川崎				
			船橋			JRA	JRA		川崎				JRA	JRA						JRA	JRA						JRA	JRA					

※ 発売日程は、変更になることがあります。
地方競馬の収益金は、畜産振興及び地方財政の改善
に活用されています。

地方競馬全国協会